

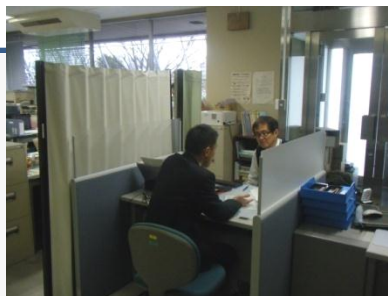
中野区(東京都)の一体的実施

平成24年2月1日事業開始

区役所庁舎内に「中野就職サポート」を開設し、区とハローワークによる生活保護受給者、住宅手当受給者等に対する一体的支援等を効果的・効率的に実施。

区

福祉サービス、相談の実施等



国

職業紹介・職業相談の実施等

① 事業内容

- ・生活保護受給者、住宅支援給付受給者、児童扶養手当受給者、生活保護の相談段階・申請段階の方々及び障害者の方に対する支援

② 協定・事業計画

- ・中野区長、東京労働局長及び新宿公共職業安定所長の間で協定(*)を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を中野区、東京労働局及び新宿公共職業安定所の間で策定

* 協定の実施等について相互に要望することができ、出された要望には誠実に対応する旨を規定。

③ 運営協議会

- ・中野区職員、東京労働局職員及びハローワーク新宿職員をメンバーとする運営協議会を設置。(中野区長が会長)

中野区本庁舎内の福祉担当課と同一フロアに中野就職サポートを設置。身近な区役所で、国の職員が、即時の職業紹介と予約制・担当者制を組み合わせつつ対応し、福祉から就労までの一体的支援等を実現。

(1) 実施体制

区

- ・生活援護分野(生活保護関係) 査察指導員 9名
就労支援員 1名
- ・生活援護分野(住宅支援給付関係) 就労支援員 1名
- ・子育て支援分野(児童扶養手当関係) 就労支援担当 1名
- ・障害福祉分野 就労支援担当 1名

国

- ・職業相談員(就職支援ナビゲーター等) 2名
- ・求人情報提供端末2台、職業紹介端末2台を配置

(2) 事業目標と取組状況

	25年度事業目標	取組状況(26年3月末時点)
新規支援対象者数	生活保護受給者等に対する就労支援(支援プラン策定)を新たに年間210人以上実施する。	支援プラン策定者数 279人 (相談延べ数 3,019件)
	(参考)24年度目標 生活保護受給者に対する就労支援(支援プラン策定)を新たに200人以上に実施する。	(参考)24年度実績 年間203人の支援プランを策定 (職業相談延べ数 2,939件)
就職率	就労支援の対象とし支援プランを策定した者の就職率 ・60%以上	支援プラン策定者数 就職者数 就職率 年度計 279人 201人 72.0%
	(参考)24年度目標 支援プラン策定した者の就職率60%以上	(参考)24年度実績 就職率 68.0% (就職者数 138人)

一体的実施事業による就職成功例

男性：42歳 希望職種：清掃

○ 本人の状況・背景

大学卒業後アルバイト、派遣勤務。同居人の収入で生活（7年間）していたが同居を解消。

① 抱える課題

7年間のブランク。内気な性格。

② 支援内容・ポイント・経過

・就職への意欲喚起に努め、就労条件の優先順位（一人で出来る自宅近くの仕事）を明確にした。本人と一緒に求人検索を実施。特別養護老人ホームの清掃スタッフに応募。面接対策を綿密に実施した。

③ 結果

・清掃スタッフにパートで採用（月収7万円）
※支援期間 4カ月

○ 就職支援ナビゲーターの所感

・相談回数を重ねるごとに、自分自身でやりたい仕事が見つけられるようになった。

○ 本人のコメント

・ブランクの長さが気になっていたが、ナビゲーターの方と二人三脚で活動出来た。皆さんの支援に感謝している。

男性：30歳 希望職種：IT関連ヘルプデスク

○ 本人の状況・背景

事業の閉鎖に伴い離職。自ら就職活動をしていたが、蓄えも底をつき生活保護を申請。

① 抱える課題

前職が高給であったため、給与額にこだわり。

② 支援内容・ポイント・経過

・年齢等も考慮し、前職と同じ職種であるITヘルプデスクへ根気強く応募。採用に至らないため自信喪失状態となるが、意欲の向上喚起とともに応募書類の添削指導と模擬面接を繰り返し行うことで就職へと至った。

③ 結果

・ヘルプデスクに正社員で採用（月収30万円）
※支援期間 10カ月

○ 就職支援ナビゲーターの所感

・採用に至らず、自暴自棄な時もあったが、常に本人に寄り添うことを意識し支援に努めた。

○ 本人のコメント

・希望する仕事に就けたことに感謝している。ナビゲーターの方が常に支援してくれたおかげだと思っている。